

# 京都大学再生医科学研究所

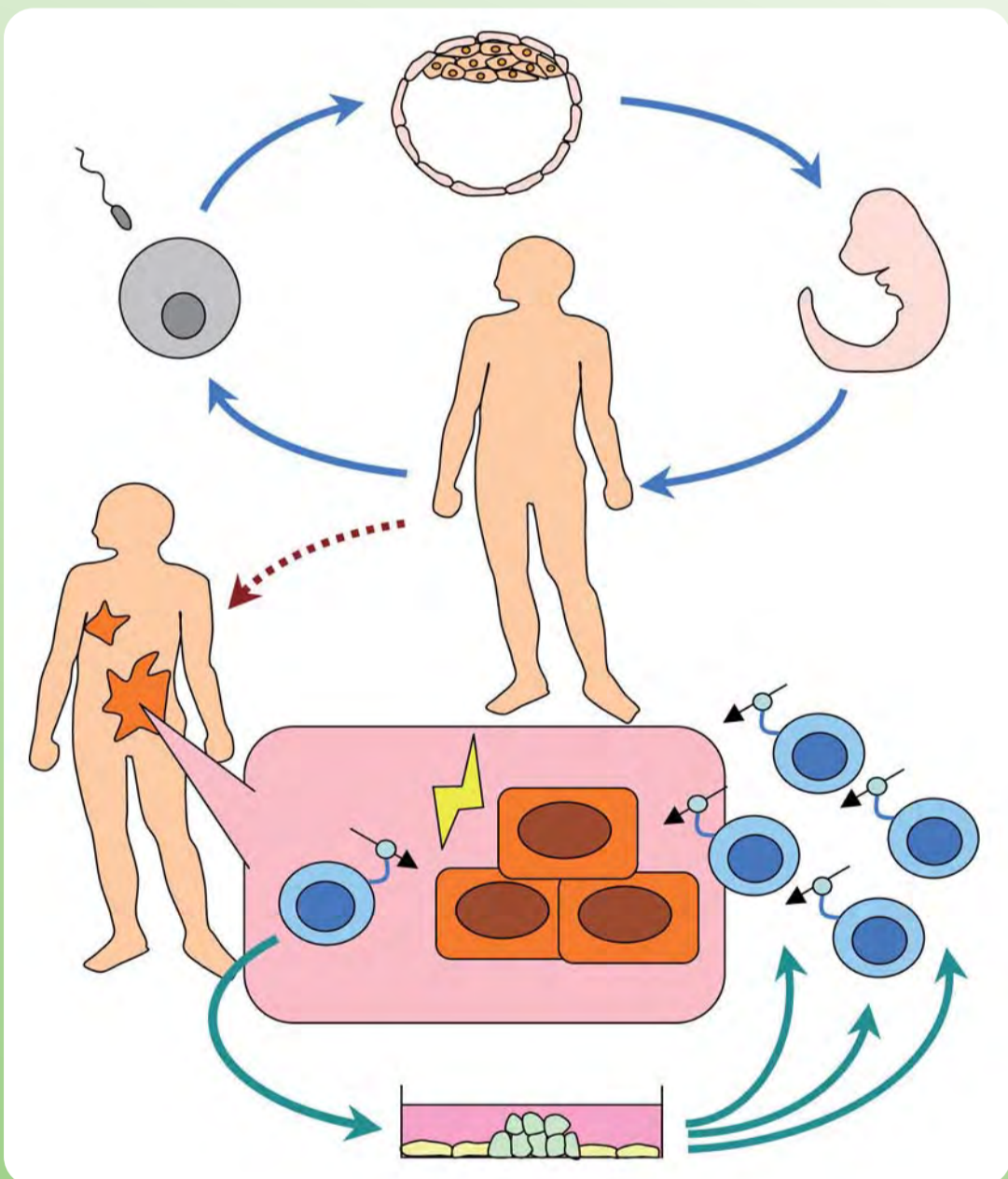
『再生医学・再生医療の先端融合的共同研究拠点』

## 第8回 公開講演会

テーマ

### 種の存続と個体の生存

生物は種として生き残るために受精し新たな個体を再生し、一方では個体は生き残りをかけて体内に発生する悪性新生物(がん)と戦っています。今回の講演会では、はからずも再生医科学研究所の守備範囲の中の両端に近い二つの研究を紹介させていただきます。



日時

平成 **25** 年 **7** 月 **20** 日 (土)

午後2時00分～午後4時10分

開場1時00分 開演2時00分

#### プログラム

■午後2時00分～2時05分  
開会挨拶

■午後2時05分～3時05分

#### 「意外と謎だらけの受精のはなし」

再生医科学研究所 教授 近藤 玄

受精は、世代をつないでゆくためにたいへん重要な生物の仕組みのひとつです。その基本原理は、ウニ・ヒトデなどの下等動物からわれわれ人間まで、ほぼ変わらず引き継がれていますが、まだまだ謎の多いところです。ここでは、いままでにわかってきたこと、これからあきらかにすべきところをお話したいと思います。

■午後3時10分～4時10分

#### 「iPS細胞から がんを殺す T細胞を再生！」

再生医科学研究所 教授 河本 宏

がん患者の体の中には、がん細胞を殺すことができるキラー T細胞が少数ながら存在します。現行のがん免疫療法は、それらのT細胞を刺激して働かせるという戦略を取っていますが、その効果は限られています。私たちは、そうした状況を打破することを目指し、iPS細胞技術を用いて若くて元気な抗腫瘍キラー T細胞を大量に再生させる研究を進めています。

#### 申し込み

#### 京都大学再生医科学研究所公開講演会係宛

メール (kouen@frontier.kyoto-u.ac.jp)

FAX (075-751-4646)

往復はがき (〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53)

上記のいずれかに、氏名(複数申込可)・連絡先(住所・メールアドレス・電話番号・FAX番号等)を記入のうえ、7月12日(金)までにお申込みください。なお、定員は先着500名です。

駐車スペースがありませんので、当日は公共交通機関をご利用ください。

#### 場所

#### 京都大学百周年時計台記念館1階 百周年記念 ホール

受講料

無 料



◎ 問い合わせ先：京都大学再生医科学研究所総務掛 (電話番号 075-751-3802・3803)

※講演会当日 090-2385-6728 (12:00～)

◎ 京都大学再生医科学研究所のホームページ <http://www.frontier.kyoto-u.ac.jp/>

◎ 「京の府民大学」対象講座